

2020年4月20日

リコー、新型コロナウイルス感染症に対応する医療現場を支援 ～フェイスシールドを生産し、感染症指定医療機関に無償提供～

世界各地で感染が広がっている新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになった皆さまに謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々、困難な状況におられる皆さまの早期回復を心よりお祈り申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染者が引き続き拡大する中で、医療現場で必要とされるマスクや防護服などの不足が深刻化しています。

こうした状況を受け、リコーグループでは、新型コロナウイルス感染症に対応する医療現場への支援として、神奈川県厚木市の生産関連拠点であるリコー厚木事業所でフェイスシールドの生産を開始します。3Dプリンターや金型の活用により、4月中に1,000個、5月末までに7,000個のあわせて8,000個のフェイスシールドを生産し、厚生労働省から感染症指定医療機関(特定感染症指定医療機関及び第一種感染症指定医療機関)として指定されている57の医療機関に対して、順次、無償提供します。



今回の取り組みは、英国中部の製造・事業開発拠点である Ricoh UK Products Ltd. (以下、RPL) において、フェイスシールドを生産し、同国の NHS (National Health Service) に提供を始めたことを受けたもので、現在 RPL では 1 週間で 40,000 個の提供を目指して生産に取り組んでいます。また、リコーグループでは同様の取り組みを世界各地で検討し、展開しています。

この他にもリコーグループでは、人と人との接触を 8 割以上減らすための取り組みを進めるために、在宅勤務を基本とした働き方を実践しているほか、中小企業のリモートワーク環境の構築支援や、学校・医療機関などに対する遠隔コミュニケーションの支援など、デジタルサービスを活用して生産性向上と感染拡大防止の両立を支援する取り組みを進めています。

リコーグループでは、このような状況のなか、最前線でご尽力されておられる皆さまに心から敬意を表するとともに、一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、復興に向けた活動が進展することを願い、リコーグループとしてできる支援の一つひとつ取り組んでまいります。

<ご参考>リコーヨーロッパのニュースリリース(英語)

Ricoh 3D provides face shield solution for nurses in battle to tackle COVID-19

<https://www.ricoh-europe.com/news-events/news/ricoh-3d-provides-face-shield-solution-for-nurses-in-battle-to-tackle-covid-19.html>

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2019年3月期リコーグループ連結売上は2兆132億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく“をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>